



# 学校だより

第4号  
令和2年7月1日発行  
品川区立第四日野小学校  
校長 島崎 一江  
<http://school.cts.ne.jp/hino4/>

向夏の7月、367名の笑顔の新しい開幕です！

副校長 小山 努

向夏の7月を目前に、いよいよ第四日野小学校367名の全児童・全笑顔が学舎に会します。保護者・地域の皆様には、長期にわたりお子様の健康管理・家庭学習へのご支援を賜りましたこと改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。教職員一同、コロナ渦の時代を生きる「新しい生活様式」最中の全員登校開始であることをいや増して心に定め、新しい息吹で教育活動を展開してまいります。

さて、過日新聞紙上で、アフリカで感染症拡大防止の医療支援の経験をもつ医学者のコラムを目にしました。筆者は、現地での十分な医療体制や衣食住環境が望めない中で感染者を抑え込んできた経験を通して、感染症を防ぐ三つの方策を提言されています。①感染源を除去する治療薬の開発、②感染経路を断つ行動変容、③健康生活で免疫力の向上です。

まず、私たちができることはその二つ目の「感染経路を断つ行動変容」です。つまり、手洗い・うがいやマスク着用、三密の回避などです。この6月分散登校時、感染予防に関する「よんひのガイドライン」の行動様式は、児童にあたりまえのこととして定着しつつあります。例えば、諸活動の前後の手洗い・うがいについても、子どもたちは日々丁寧に取り組んでいます。しかし、学校では、全員登校開始を前に、指導課や学校医など第三者に指導・助言を受け正しい知識に基づき、ガイドラインを一つ一つ見直しました。そして新たに、朝は時差登校にご協力いただき昇降口での混み具合を回避したり、休み時間は校庭・図書館や屋上の使用学年を分散化したり、各教科の学習や生活場面では、その特性や個別の状況に応じた行動様式を共有化したりして、夏季の暑さ指数(WBGT)上昇に伴う熱中症予防も関連させて感染症予防に取り組んでまいります。

加えて、私たちができることの三つ目は「健康的な生活(十分な睡眠や食事・運動、そして笑顔ある生活)で免疫力の向上」です。この分散登校期間でも、「あれもできない」「これもできない」という行動変容の中にあっても、子どもたちは互いにつながり学び合い遊び合うことで、各所で笑顔ある生活を創り上げていました。教員も、マスクやシールド越しで笑顔の表情を伝え合うことが難しい中で、「声」が大事だと、一言一言に思いを込めて伝えるようにしています。この7月は、教育課程の再編成に伴い各教科学習中心に毎日が展開されますが、「互いにつながり喜び合える体験」を模索し、引き続き教員と児童で協働して笑顔を創り上げていきたいと思えます。

最後になりましたが、毎日登校の新しいリズムのスタートにあたり、お子様の笑顔の源泉となるご家庭での毎朝の検温、十分な睡眠、食事、適度な運動と、どうぞ引き続きご協力・ご支援の程よろしく願いいたします。